

	質問	回答
1	R5年度時のPPA単価算定の根拠を教えてください。 (その他機器部材費用、工事費用、運用保守費用の内訳など)	令和5年度に実施した導入可能性調査の成果物は市ホームページ (https://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/kankyo/kankyokatsudo/1043619.html)に掲載している報告書のみとなります。報告書に記載のない詳細な算定根拠・内訳等については当市において把握しておりませんので、ご了承願います。
2	最優秀者選定結果通知から補助金申請をすると、部材納期などを考えると補助金期限に間に合わない可能性があります。実施設計や協議は当年度中に済ませ、翌年度に補助申請～工事、供給開始は可能でしょうか？	補助金申請については、公募時期(国当初予算分、補正予算分及び追加募集分について年に数回の公募があると見込んでおります)にあわせて、可能な限り早期に供給開始できるタイミングで行っていただきたいと考えております。公募時期によっては供給開始が翌年度以降になることについては、やむを得ないと考えております。
3	屋根塗装/屋根防水費用は盛岡市側の負担でしょうか？	発電設備の設置にあたり、設置前に屋根塗装や防水処理が必要になった際は、当該処置の対応及び必要な費用について事業者様にご負担願います。
4	構造計算や屋根の現況で設置不可と判断される施設が発生した場合、取り扱いはどうなりますか？	設置不可と判断された施設については、市と事業者様との協議の上で、設置対象から除外することとなりますので、ご了承願います。
5	PPA単価は全施設一律とのことですが、設備は蓄電池の有無で差異があってもよろしいでしょうか？	設備については、対象施設ごとに市と事業者様との協議の上で詳細を決定させていただきますので、差異があっても差し支えありません。(対象施設ごとの設備に差異がある場合も、自家消費料金単価は全対象施設について一律となります。)
6	各施設で保安管理されている電気主任技術者に、太陽光発電設備と蓄電設備の保安管理も委託できると考えてよろしいでしょうか？	対象施設の電気主任技術者は外部委託しておりますので、当市委託先事業者へご確認願います。※委託先事業者の連絡先については、実施要領16の問い合わせ先へ照会願います。
7	蓄電池が入るとPPA単価は増額するが、蓄電池導入のPPA評価と自立運転なし余剰売電なしPPAの評価の最大差は次の通りでよいでしょうか？ ・1の災害・非常時の5点、1の余剰売電の5点。合計10点。 ・PPA単価の25点について、例えば3社から30円、25円、20円という提案があった場合に、20円の事業者が25点、25円の事業者が18.75点(25%高いので25%減点)、30円の事業者が12.5点(50%高いので50%減点)という考え方でしょうか？もしくは、20円が25点、25円が12.5点、30円が0点か？蓄電池を導入するかどうかについては、提案内容や事業運営に重大な変動をもたらす事象であるため、採点の方向性だけでも示していただきたい。	審査基準「1. 技術提案」の2項目については、お見込みのとおりです。 審査基準「4. 電気料金(概算単価)」の「電気料金がどの程度低減されるか(25点)」については、配点の詳細内訳に係る回答は差し控えさせていただきますが、審査にあたっては、本項目のみに偏ることなく、ご提案いただいた内容を総合的に判断させていただくものです。
8	蓄電池は、JIS C 4412およびJIS C8715-2(リチウム電池)に準拠した製品と指定がありますが、この証明はどの時点で必要でしょうか？準拠された製品を調達予定ですが、日本市場新規参入製品が候補に挙がっており、その証明書類を取り揃えるのに時間がかかりそうです。例えば年度内などでもよろしいでしょうか？	当該証明書類については、可能な限り設計の段階までにご準備願います。設計の段階では間に合わないようであれば、供給開始までにご準備いただければ差し支えありません。